

今を未来に

2月27日(火)保々幼稚園・保々保育園と1年生の交流会

保々幼稚園・保々保育園の年長さんと1年生の最後の交流会が27日(火)に行われました。はじめは、1年生の各教室に分かれて入ってもらい、1年生が漢字プリントに練習をしている様子を横にいて見てもらいました。びっくりするぐらい静かに、丁寧に書くことができる1年生でした。逆に、気持ちが高ぶって、そわそわしてしまう子もほんの数人いましたが、かっこいい先輩でした。



その後、自分の席を譲って、運筆の練習ができるプリントに園の子たちがなぞり書きをしました。この時も、とっても親切で、鉛筆の持ち方から丁寧に教え、持ち方を実際に示したり、いっしょに鉛筆を持ったり、動かしたりしながら、なぞる線をはみ出ないようにと声をかけていました。

その後、校舎内を案内して、体育館に入りました。体育館では、みんなで手をつないで「だるまさんがころんだ」を行いました。保幼の子とつないだ手を絶対に離さないというのが条件です。いつもなら勝手に、早く鬼の所に着くことを考えるところですが、ここでも保幼の子のことを考えて、自分を押さえながら楽しむ1年生の姿がありました。ちょっぴりお兄さん・お姉さんになった1年生のみんなでした。

2月28日(水)ほっこりした気持ちの朝でした

この日の朝は、子どもたちの姿から、心が温くなる気持ちで、1日をスタートできました。いつものように朝の登校の見守りに行った時でした。いつもより到着するのが遅い班があったので、「何かあったかなあ?」と思いながらあいさつをすると、「校長先生、集合した時に〇〇さんが泣いていたの。」「班長さんがいっしょに歩いてくれているから、もうすぐ来ると思うけど。」と教えてくれました。班長さんに聞くと、小さい学年同士の中でうまくお話ができなくて、自分のお姉さんをとられてしまったと思い込み、寂しく感じて泣いてしまったことを教えてくれました。班長さんとお姉さんに挟まれ、励ましてもらったことで、学校まで歩いて来ることができました。担任の先生にその事を伝え、様子をみてもらっていましたが、その後は元気に過ごせていたようです。

そして、その3人といっしょに昇降口の前に来た時です。足洗い場で自分のハンカチと思われるものを濡らして、登校途中でこけてしまった子の足の汚れをふきとってくれている高学年の子の姿がありました。その後、けがをした子を職員室まで連れて来てくれました。同じ班の高学年の子もその様子を心配しながら、付き添って来てくれました。「さっき、濡らしていたハンカチはあなたのハンカチ?」「はい。」「かわりのハンカチはありますか。」「はい。」「もし困るようであれば洗って乾かすよ。」「大丈夫です。」と、私とその子の会話です。

5年生、6年生がこんな姿を日常の生活の中で見せてくれて、この日はほっこりした気持ちで、一日中子どもたちの様子を見ることができました。

3月2日（金）「6年生を送る会」がありました。

前日のあたたかな空気が少し残る中、「6年生を送る会」が開かれました。送る会は6年生の入場で始まりました。緊張している子、照れている子、しっかりと自己アピールポーズがとれる子、いろいろな表情で入場してくれた6年生でした。私は数ある集会の中でも一番楽しみにしているのが、この6送会であることを子どもたちに話をしました。

会が始まると、それぞれの学年が6年生に、「今までのことを思い出してもらおう」「6年生と勝負」「お礼の気持ちが伝えたい」そんな気持ちで練習をしてきたことを伝えてくれました。

トップバッターは4年生『レッツエンジョイミュージックフェスティバル』でした。4年生と言えば三泗音楽会。そこで音楽をテーマにした発表でした。まずは、イントロ当てクイズ（鍵盤ハーモニカやリコーダーで演奏）で、これまで学習した音楽の授業を思い出してもらいました。「階名は口ずさめるのに、その曲名が出てこない。」と悪戦苦闘の6年生。その後のリズム打ち競争では、やや4年生が優勢！最後の合唱でも、4年生の方が練習の成果が見られたようですが、1年生は「ええー？6年生の方が綺麗だった。」と、訴えていました。

2番手は3年生『みんなでありがとうマーチ』でした。鍵盤ハーモニカの演奏に合わせて行進し、体育館中央へ出てきた3年生。3年生の時を思い出してもらうために、国語「ちいちゃんのかげおくり」、社会「社会見学で見てきた茶畑の防霜ファン」、理科「昆虫の足はどこから出てる？」、算数「棒グラフかと思いきや、6年担任クイズ」でした。6年生の回答に「卒業できやんよ！勉強し直し」と、突っ込みたくなかったのは私だけではないように思いました（笑い）。

休憩をはさんで、3番手は2年生『すてきな6年生「じゃあね」』でした。「あの青い空のように」では喜びの気持ちを、「すてきな友だち」では手本になってくれた6年生へのお礼と仲間がいればつらくないというメッセージを送りました。最後は谷川俊太郎の詩「じゃあね」でした。一人一台詞があると2年生の子から聞いていましたが、どの子も自分の台詞を精一杯の声で言えている所がととてもよかったです。

そして、卒業する6年生に一番お世話になった1年生『思い出のアルバム』でした。1年間をふり返るため、四季それぞれの思い出の中から6年生とつながっていたことや一緒にやってもらったこと、お世話になったことが発表されました。春「登校班、学校案内」、夏「泳ぎ方を教えてもらった」、秋「運動会、あこがれの6年生」、冬「たぬきの糸車、私たち成長したよ」、6年生との思い出を振り返りながら自分たちの成長も確かめていた1年生、最後のお礼の歌にその気持ちが込められていました。

在校生のとりは5年生『6年間ダイアリー』でした。小さい学年から順に「いもほり」「地区探検」「黄粉作り」「三泗音楽会」「自然教室の御在所登山」、最後に6年生といっしょに取り組んだ「組立体操」と続けました。6年間の思い出はたくさんあることが思い出されたことでしょう。

学年の出し物の後は、全校の歌「さんぽ6年生を送る会バージョン」と、縦割り班の班長であった6年生全員にプレゼントとして全員で書いた手紙を贈りました。それに対して、6年生からは「心の瞳」（合唱）がプレゼントされました。この曲は卒業式の中でも歌われますが、1年生から4年生の子が聞くことができるのは、この日が最後です。綺麗な歌声でしたが、6年生は「もう少し大きな声が出せた。」と思っていたそうです。そこは、卒業式本番で見せてもらいましょう。

卒業式まで学校に登校するのは、明日からと考えると11日、下級生との登校はあと10日となりました。12日には地区児童会が開かれ、登校班を5年生にバトンタッチします。最後の最後まで責任を持って行動ができる6年生、だからこそあこがれられる6年生として、卒業式を迎えましょう。

【6年生を送る会を写真で振り返りました】

【6年生入場】



明日に向かって！



見事なポーズ！？

【5年生司会開会】



送る会を始めます。

【校歌斉唱】



気持ちを一つに。

【4年生：レッツエンジョイミュージックフェスタ】

リズム打ち競争！軍配は4年生へ。やるね！



「茶色の小瓶」の合唱・合奏の後の場面です。



【3年生：みんなでありがとうマーチ】



ちいちゃんのかげおくり、・・・みたいだなあ。



昆虫の足はどこから？6年生「腹！」ガーン

【2年生：すてきな6年生「じゃあね」】



「あの青い空のように」卒業をお祝いしました。



手本になってくれた6年生、すごーい！

【1年生：思い出のアルバム】



組立体操、私たちもできるようになりたいです。



私たちこんなに大きくなりました。ありがとう。

【5年生：6年間ダイアリー】



御在所登山全員登頂は、さすがです。



組立体操、私たちをリードしてくれました。

【全校の歌：さんぽ6年生を送る会バージョン】 【6年生へのプレゼント】



学校生活、感謝の気持ち、卒業おめでとう。



縦割り班で協力して作りました。受け取ってください。

【6年生より「心の瞳」】



あと13日(登校)で卒業です。聴いてください。

【6年生退場】



胸を張って退場します。卒業おめでとう！